

## 今後の温室効果ガス排出量算定方法検討会の進め方

### 1. 背景

本年度の検討において、各分野において算定方法の見直しが行われたが、情報の不足等の事情により見直しが見送られた課題、見直しは行ったが引き続き精緻化に向けた検討が必要な課題が残された。

引き続き検討を要する主な課題は以下のとおり。

担当分科会	主 な 検 討 課 題
インベントリWG	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インベントリ確定値・速報値の公表早期化に関する継続検討。</li> <li>・ 石炭製品製造部門の炭素収支の改善。</li> <li>・ 原料及び非エネルギー利用分として排出量に計上していない分の扱いに関する検討。</li> </ul>
エネルギー・工業プロセス分科会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合エネルギー統計における最終エネルギー消費部門の計上方法の改善。</li> <li>・ 石灰石及びドロマイトの使用に伴うCO<sub>2</sub>排出量に用いている活動量の精査。</li> <li>・ カルシウムカーバイド製造に伴うCO<sub>2</sub>排出係数の設定の検討。</li> </ul>
運輸分科会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動車及び二輪車のCH<sub>4</sub>及びN<sub>2</sub>O排出係数データの充実。</li> <li>・ 尿素SCR車の排出係数データの蓄積。</li> </ul>
農業分科会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 排せつ物管理区分使用割合の更新。</li> <li>・ 家畜排せつ物の管理に伴う排出係数の更新。</li> <li>・ 有機物管理方法割合の更新。</li> <li>・ 有機質肥料からのN<sub>2</sub>O排出係数の設定。</li> </ul>
HFC等3ガス分科会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 把握・推計されていない「冷媒、発泡剤等以外での代替フロン使用」「その他用途のPFC」の実態把握について継続検討。</li> <li>・ 基準年以前の未推計年の排出量の試算可能性の検討。</li> </ul>
廃棄物分科会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業廃棄物処分場における準好気性埋立構造の反映。</li> <li>・ 動植物性廃油の活動量からの控除。</li> <li>・ 排水処理施設ごとの排出係数の更新。</li> <li>・ 焼却に伴う排出係数の更新。</li> </ul>
森林等の吸収源分科会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農地、草地、開発地などの土壤炭素ストック量及び土壤炭素ストック変化量に関する算定方法の改善。</li> <li>・ 放牧地及び採草放牧地以外の草生地及び無視できない程度のバイオマスが含まれる可能性がある「その他の土地」（防衛施設用地など）の生体バイオマスに関する算定方法の改善</li> <li>・ 未把握となっている「その他の土地」の実態把握及びバイオマスの有無に関する検討（他の5つの土地利用区分の面積データの精度改善を含む）。</li> </ul>

これらの課題については、2010年4月に条約事務局に提出予定の京都議定書の第1約束期間の最初のインベントリ（2008年度インベントリ）に向け、引き続き検討を行う必要がある。

一方、地球温暖化対策の推進に関する法律（以下、温対法）に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度、地方公共団体実行計画については、それぞれ同法施行令等により排出量の算定方法等が定められているが、設定以降、インベントリの検討において新たな知見が得られてきていること等を踏まえ、算定方法等について見直しを行う必要がないか検討する必要がある。

以上を踏まえ、来年度も引き続き本検討会を開催することとしたい。

## 2. 検討事項

- ①排出量や活動量の算定方法・過程の精緻化
- ②温室効果ガス排出量・吸収量に関する統計の集計・算定・公表の早期化
- ③温対法に基づく算定方法の見直し
- ④その他

## 3. 検討体制

温室効果ガス排出量算定方法検討会の下に設置した分野横断的な課題を検討するインベントリ WG 及び分野別の課題を検討する6つの分科会（エネルギー・工業プロセス分科会、運輸分科会、農業分科会、HFC等3ガス分科会、廃棄物分科会、森林等の吸収源分科会）において引き続き検討を行う。

## 4. 今後の予定

2009年4月頃：2007年度インベントリ公表・国連提出

－この間に1～2回程度インベントリ WG 及び分科会を開催－

2009年秋頃：算定方法検討会

2008年度インベントリ算定方針について

－この間に検討結果をインベントリ算定方法に反映－

2010年4月頃：2008年度インベントリ公表・国連提出